



神奈鍼会報

第 175 号
令和 4 年 3 月 31 日発行

発行人 一般社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会 会長 伊勢山 竹 雄 編集者 太田 修 二
〒231-0065 神奈川県横浜市中区宮川町 2-55 ルリエ横浜宮川町 304
TEL.045-242-7790 FAX.045-242-7791 E-mail : kanasin@apricot.ocn.ne.jp

第 27 回日本災害医学会総会・学術集会発表 「受援力」が復興を早める！！

報告 朝日山 一男・榎本 恭子

第27回日本災害医学会・学術集会が3月3日（木）～5日（土）広島国際会議場、ハイブリッドで開催されました。全鍼師会では3題発表しました。その内2題は、筆頭演者榎本恭子、共同演者朝日山一男が発表しました。コロナ禍のためWebでの発表となりました。

1 題目は、一般講演に採択され、演題は「受援力の必要性」です。

東日本大震災から熱海伊豆山土砂災害に至る11年間の経験から得たものは、災害の復興を早めるのは「受援力」であることを発表しました。

従来は支援に力点を置いた活動を行ってきましたが、支援がスムーズにできた被災地はボランティアの受け入れがうまく、効率よく活動が出来たこと。ボランティアが集まる被災現場では復興が早く、「受援力」をうまく発揮されていることを実感したことを発表致しました。

演者も被災体験からも仲間への発信で支援活動を受けることができました。このことは、神奈川で災害が発生した場合、会員が被災者の支援に回ると同時に、非被災地域からのボランティアの受け入れをいかにうまくコーディネートできるかが、被災地への支援を充実させ、復興を早めるカギとなるでしょう。





もう1題は、ポスター発表で「熱海伊豆山土砂災害での消防署員に対する鍼・マッサージによる支援」で熱海消防署員に対する支援者支援への過程を発表しました。

DSAM（災害支援鍼灸マッサージ師）の先遣隊としてDMAT（厚生労働省 災害派遣医療チーム）の先生との連携で、発災3日の急性期より現地入りすることができました。

しかし、被災者がすべて予防接種を終えていなかったことから、保健所より鍼マッサージの支援許可が下りず断念しました。ところが、熱海消防署長から東海医療学園専門学校の杉山誠一校長に消防署員が支援で疲労しているため是非、施術を行ってほしいとの依頼がありました。そこで消防署員全員予防注射を受けていることを保健所に伝え、交渉の結果、条件付きながら許可が出ました。杉山校長の熱意と教員の方の協力、（公社）静岡県鍼灸マッサージ師会、（公社）静岡県鍼灸師会の先生方の協力で6日間施術者延べ50人で、実数61名延べ94名の消防署員に感染対策を徹底し施術が出来たことを発表しました。

熱海で発災後、すぐさま施術者を受け入れ実施できたことは、DSAMでの日頃の活動や研修、地元師会が経験を生かすことができたことが大きかったと言えます。

災害支援は、経験がなければなかなか実施ができません。被災地への入り方やボランティアの受け入れ方法もうまくいかないことになります。神奈鍼でも今までの経験を活かし、素早く対応できる体制を築くことが急務と考えます。

災害はいつ・どこで起きるかわかりません。被災地は、支援者にも受援者にもなります。いざは、あるものとしての準備が不可欠と感じております。



本会役員改選についてお知らせ

一般社団法人 神奈川県鍼灸マッサージ師会
会長 伊勢山 竹雄
選挙管理委員会 委員長 深谷 大介

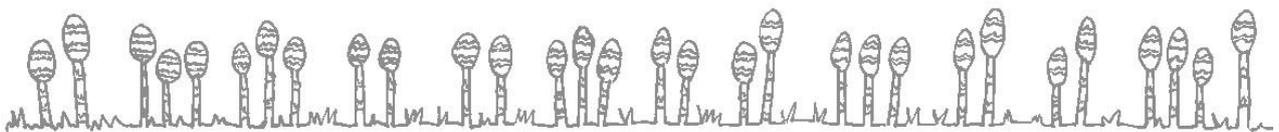
標記について、令和4年6月5日（日）に開催される定期総会にて本会役員
の改選をいたします。立候補の方法、選挙の方法など下記にてお知らせいた
します。

（選挙の告示）（定款細則第19条）

（1）選挙期日：総会開催期日前に発行される「会報」等で、選挙公報、候補者
名簿、投票用紙を同封します。令和4年6月5日（日）、開催される定期総会で
選挙結果を発表します。

（2）立候補届出の期間及び立候補に関する事項 令和4年4月1日（金）から4
月15日（金）までに、本会事務所宛に役員立候補届および必要書類を添えて提
出（郵送又は持参する。4月15日（金） 午後5時まで）ください。（定款細則
第20条参照）

* 推薦状・立候補届出書は事務所にあります。立候補者は事務所まで書類の請
求をお願いします。



組織部より ●●●●●●●●●●

活 動 報 告

新型コロナウイルスの影響を受け、今年も限られた学校だけですが業界説明を行いました。

一般社団法人神奈川県鍼灸マッサージ師会の活動内容をお伝えしています。聞いた人が『入会してみたいな!』その様に思っただけの説明であること!このことを一番の優先順位だと意識しながら取り組んでおります。

- 3月 2日(水) 湘南医療福祉専門学校
- 3月 9日(水) 横浜医療専門学校
- 3月14日(月) 神奈川県立平塚盲学校
- 3月15日(火) 横浜市立盲特別支援学校
- 3月17日(木) 横浜訓盲学院

福利厚生部より ●●●●●●●●●●

ウクライナ緊急支援について

連日のニュースでロシア軍によるウクライナ侵攻の様子が流れ、破壊された建物や傷ついていた子供達や女性達の姿を目の当たりにする度に心を痛めているのは私一人ではないと思います。

今、この世界で戦争が現実に行き始めている事実について、この平和な日本で暮らしている私たちにできることは何でしょうか?

まずは支援金を送り僅かであってもウクライナの子供たちに役立ってほしいと思います。

先日の3月11日(金)に開催の令和3年度第7回理事会において福利厚生部より15万円の緊急支援を提案し承認を頂きました。

つきましては『ユニセフ ウクライナ緊急募金』の口座に送金させていただく予定です。

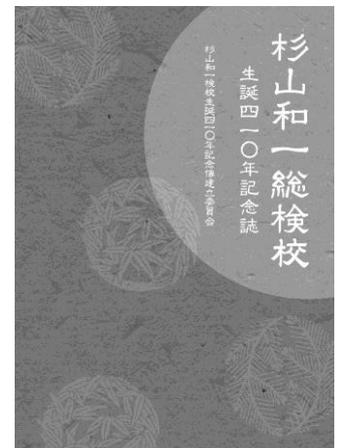
福利厚生部 梅田 春樹

杉山祭について

令和4年度の杉山祭は、5月8日に開催致します。しかしながら、未だ新型コロナウイルスの感染状況が読めず、本年度は神奈鍼役員、藤沢師会役員、その他小人数での開催とさせていただきます。何卒ご了承のほどお願い致します。

杉山和一総検校銅像建立記念誌

生誕410周年を記念して建立された杉山和一総検校の銅像が、皆さまのご協力を得て昨年完成し、その記念誌が出来上がりました。ご寄付を頂戴致しました各位には贈呈させていただきます。ご希望の方は藤沢師会にご連絡下さい（有料）。



書籍紹介

「日本鍼灸の極意 管鍼法」

北川 毅・著 大浦慈観・監修 日英対訳

江戸時代管鍼法を創案し、将軍綱吉の主治医も務めた杉山和一。
世界に誇る鍼術の技術書であり、縁の地のガイドでもある。



編集後記 3月に入り初夏を思わせるような暖かい日もあり、春の訪れを感じる今日この頃。長引く新型コロナウイルス感染症、ロシア・ウクライナの戦争は日本経済にも影響が出てきている。ヒトは不安を探す生き物だと心理学者が言っていた。報道は不安を駆り立てるようなものばかり。何がフェイクで何がリアルか…。常に体に力が入り緊張した日々が続く。これでは気が病むのも無理はない。せめて天気の良い日にはマスクを外し、エネルギーたっぷりの春の外気を深呼吸。淀んでいたもやもやが消え、小さな季節の変化も目に入ってくるようになる。おっ、ホトケノザが咲いた。これはリアルだ。